

【就労移行】

あいのわしごとセンターでは、10月から新しい障がい福祉サービス「就労選択支援」が始まりました。障がいのある方が自分に合った就労支援サービスを選びやすくするための、新しい制度です。就労選択支援を利用することで、自分の「不得意、得意」が分かり、自分にはどんな支援が必要だろうか？を知ることが出来ます。自分の可能性を広げるきっかけになるといいですね。

【就労定着】

企業に雇用されると「年次有給休暇」という、会社をお休みしてもお給料が支払われる休暇があります。「有給」は、使いすぎると、お給料が出ない「欠勤扱い」になったり、最低5日は必ず取らなくては行けない決まりがあったり、計画的に使わなくては行けないものです。定着支援を利用している方々は、有給を上手に使いながら通院やリフレッシュなどを行っています。

(記：大津)

障がい者虐待防止・権利擁護伝達研修

福祉作業所では、1月末に「障がい者虐待防止・権利擁護」の伝達研修を行い、「通報の意義と通報後の対応」についてグループワークを通して討論を行いました。

虐待と見受けられる場合の通報義務について、職員それぞれがどのように考えているのか、利用者の方との関わりの中でどんな悩みがあるのか等を話し合いました。

人によって見え方が変わったり、感じ方が違ったりする中でも、常に意識を持って行動する事で、より良い支援へと繋げていけるように改めて考えることが出来たと思います。

(記：村田)

実習生・研修報告

◆ 実習生

3/2~3/13 保育実習・・・2名

◆ 研修報告

リスクマネジメント委員会

2/12 KYT 研修 (危険予知トレーニング)

虐待防止・身体拘束等適正化委員会

1/26 東京都障害者虐待防止 伝達研修

防災委員会

1/13 BCP 動画研修

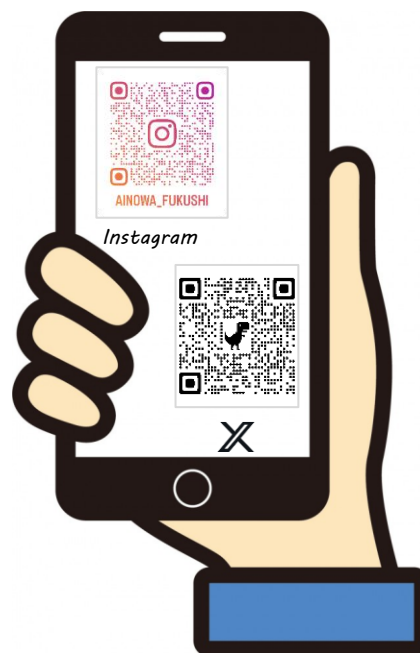
1/29 カード式避難訓練

サービス向上委員会

1/20 チームビルディング研修

SNS 情報

あいのわ福祉会では、SNSに「あいのわの今」を発信しています。毎週木曜日に更新され、各施設の様子などを紹介しています。SNSを利用している方はぜひ一度見てみて、フォロワーになって頂けたら幸いです。



発行元：神明障がい福祉施設
神明福祉作業所
広報担当(大津・村田・市川・新井)
住所：神明南2-6-18 TEL:03-5682-5370
発行責任者：照井 智幸
発行部：第3号
発行日：令和8年3月16日

かがみやき

相手を思いやるということ

神明障がい福祉施設では、今年度のテーマを『思いやり』としました。私たちは、相手を思いやる気持ちを大切にしていくことを年度の始めに確認しました。自分が困っているとき、どうしたらいいか解らないときに、人は孤独を感じます。そんなとき、困っている私に気付いてくれた誰かが「大丈夫？」と一言声を掛けてくれるだけで、どれだけ救われた気持ちになるのでしょうか。少し想像してみてください。『思いやり』とは、決して困っているときに誰かに声を掛けるだけのことでありません。相手の人が望んでいることを先に読み取ってみることから始まります。

先日、日本航空(JAL)の社長で鳥取美津子氏の『最高のバトンタッチ』という記事を拝見しました。その中に「一人一人が自分の持ち場で満点の仕事をするのも大切だが、その“先”を想像した一工夫や思いやりのあるコミュニケーションこそが、お客様の安全・安心と最高のサービスにつながる。それぞれのちょっとした共有などの言動が、バトンを受け取った社員の確かな判断につながり、お客様にお届けする安心・安全へのモチベーションになる。お互いの信頼があるからこそ、技術や経験が生きる。見えないバトンだが、相手を思いやり、信じて託す気持ちを大切にしたい。心をあわせて最高のバトンタッチを重ね安全・安心運航と新しい感動を届ける。」と書いてありました。なるほど、まさにその通り。思いやりとは、一方的なものではなく、バトンを受け取る相手に合わせて最高のバトンを渡せるようにする、受け取る側も相手が渡しやすいうように受け取ることで、それぞれの良さが活かされるのだと、改めて思いました。

それは決して特別なことではありません。例えばトイレなど、みんなが使うものを次の人が気持ちよく使えるように、自分ができることを考えてみることもそうです。もし、便器や床や壁などを汚してしまったら、ペーパーで拭いて汚れが無い状にしてみるのも良いと思います。トイレだけではなく、洗面台や食堂、作業室、作業の道具も、次に使う人が気持ちよく使えるように使うこともそうです。誰でもできる、思いやりのバトンをいっしょにつなげていきたいです。

(記：サービス管理責任者 富樫 薫子)

🍓 就労継続支援 B 型 “あおぞらグループ”

あおぞらグループでは毎月、前月の売り上げを利用者の皆様に向けて発表する『売り上げ発表』をしています。基本的には前年度の同月と比べて、多いか？少ないか？が目安になります。多い月もあれば、少ない月もあり毎回一喜一憂しています。

3月は一年の総括の月になります。今のところ前年度よりも多くの売り上げを見込んでいて、利用者の皆様に前年度より多くの工賃を支給できそうです。これは、一人ひとりが昨年度よりも作業スピードが上がり、より多くの仕事をする事ができた証となります。

来年度は新しい仕事を入れて、さらにたくさんの売り上げを達成できるように一緒に頑張ります。

(記：門前)



🍓 ごみゼロ地域清掃活動

足立区では、「犯罪を抑止し、地域の美しさを向上させることを目的」として、まちの美化活動、犯罪のない住みよいまちの実現を目指しビューティフル・ウィンドウズ運動を行っています。

神明障がい福祉施設は、例年まちの美化活動の一環として「ごみゼロ地域清掃活動」に足立区立中川北小学校の方々と一緒に参加しています。公園が綺麗になることで、健康促進、社会的交流、環境保全、安全性向上、地域価値の向上など、多面的にメリットがあります。

これからも沢山交流させていただくことで、お互いの理解をより深められるよう様計画立てて実施していきたいと思っています。

(記：市村)



🍓 生活介護（作業訓練型） “かりんグループ”

かりんグループでは毎月、足立区スポーツセンターで開催されている運動・スポーツ教室に参加しています。東京ヴェルディに所属するコーチの皆さまにご指導いただき、参加者一人ひとりが無理のないペースで楽しみながら体を動かしています。昨年12月には東京ヴェルディトップチームの選手である食野壮磨選手、馬渡洋樹選手も参加されました。普段なかなか接することのないプロサッカー選手の技やプレーを間近で見ることができ、参加者の皆さんは目を輝かせながら取り組まれていました。心身のリフレッシュや意欲の向上につながる貴重な機会となっています。

(記：會田)



🍓 看護師より

今年度も、あっという間に年度末を迎え、看護の立場として、健康相談や服薬支援、体調の変化への早期対応を通して、安心して活動に参加できる環境づくりに努めてまいりました。

ご家族の皆さまが日々寄り添い、支えてくださっているからこそ、日々頑張っている利用者様の姿を見ることが出来ていると思っています。

来年度も、「がんばりすぎ注意報」を発令しながら、一人ひとりのペースを大切し、これからも寄り添っていききたいと思います。

(記：新井)